

2009年12月7日 今日では以前から模索していた、ホイールナットについて結論を述べようと思う。予てより購入を予定していた、BTITANIUM製のチタン合金(Ti-6Al-4V=TA6400)ホイールナットの導入についてである。以前貫通タイプの超軽量チタン合金ホイールナット(現行Type Feather [TIWN-F])がBTITANIUMからリリースされた時に、標準サイズの袋ナット形状のものが製作出来ないか、御社に直接メールで質問したことがあった。袋状のものを製作するとなると、切削屑の逃げ場が無くなり、技術上の困難が伴い製品化するにはコストアップの問題があるとの回答であった。しかしこのほどリリースされた本ホイールナットは、見事にその解決策を具現化した製品となっている。貫通型ナットの頭にキャップを取り付けるという新たな発想で、コストの問題をうまくクリアしているのだ。私が質問したときに、ちなみに袋ナットを製作するとしたら、どのくらいの価格になるか試算して頂いたときは、確か6,000円をオーバーしていたと記憶している。それに比べれば半分程度の価格に収まっているので、購入して締結材としてのポテンシャルを一度試してみる価値はあると判断した。

Premium β TITANIUM Wheel Nut

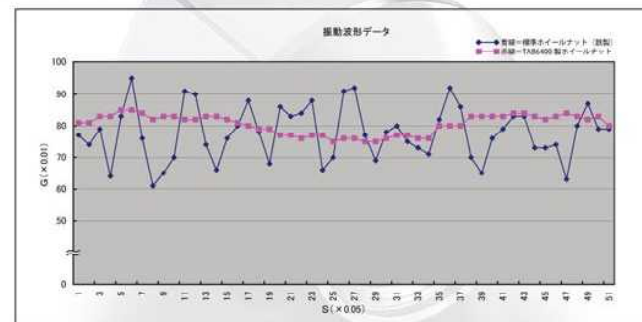
拘り続ける

チタン合金ホイールナットの特性と効果

ホイールナットの役割

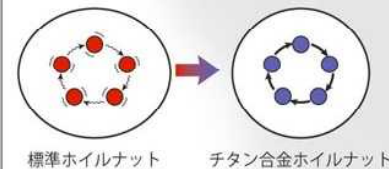
それはホイールとハブを締結すること。しかし従来のアルミや鉄系統のホイールナットでは走行中に様々な歪みや微振動が発生していることをご存知でしょうか？

ベータチタニウム製チタン合金ホイールナットは比類なき剛性と振動吸収性に優れた TA6400 プレミアムチタンを高精度で切削加工することにより、走行中に発生していた歪みや揺みを収縮、整流化が可能となり、車体の応答性と静粛性を向上させることを実現しました。

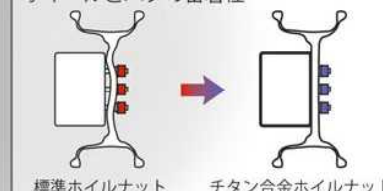


参考データ：ホイールナットの材質の違いによる走行中の振動データ (当社計測)

ホイールのに掛かる力のたわみ



ホイールとハブの密着性



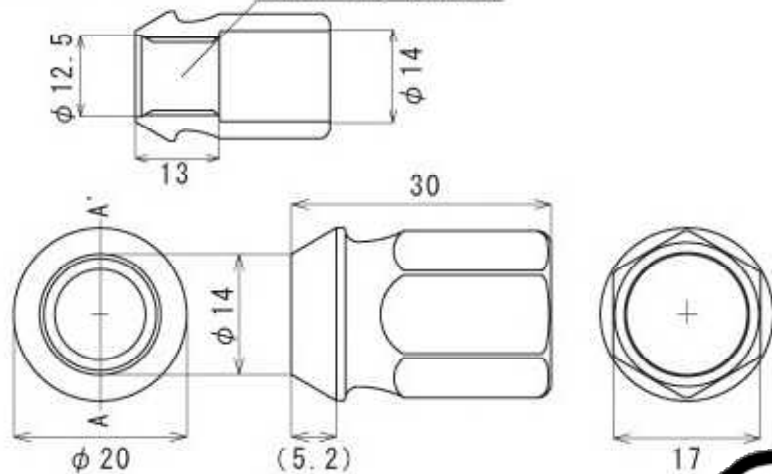
主な効果

- ・ハブに伝わる力が整流化されることにより実現できるハンドリングレスポンスの向上
- ・締結力向上による加減速のリア感の向上
- ・振動吸収性による車内の静粛性の向上
- ・バネ下荷重軽減とタイヤの転がり抵抗軽減による燃料消費率の改善

あなたの愛車をワングレード上の車に生まれ変わらせる事が出来ます。

SELECT A-A'

M12×1.5 (1.25)



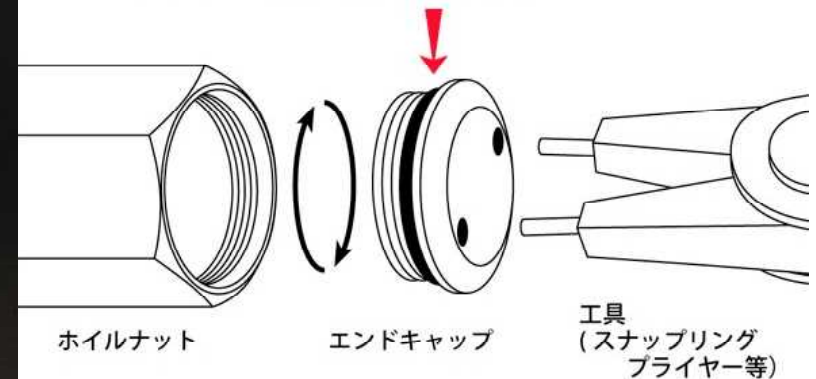
2009年12月7日 それにしてもBTITANIUMというメーカーは素晴らしい！流石にあのヨシムラ御用達だけのことはある。これほどまでに拘りを持ってホイールナットを製作するメーカーなんて他にはないと思う。キャップを装着した状態での重量は、わずか18gである。それだけで、TAB6400の材料には、ジュラルミンナットのような脆弱さはみじんもない。しかも私の愛車に装着しているのはNEEZの鍛造マグネシウムホイールである。F1マシン並みのホイールにベストマッチのホイールナットがあるとすれば、このBTITANIUM製チタン合金ホイールナットにおいて他にはないだろう。また折角なので、ナットのカラーは陽極酸化処理されたチタンブルーのものを購入することにした。

ホイールナットエンドキャップ-テーパタイプ
[WNEC-TP] 陽極酸化処理



BTITANIUM

ここに回り止め、異物混入防止の「Oリング」が入ります。



TAB6400ホイールナットTypeStandard
[TIWN-Std] ピッチ1.25-陽極酸化処理

SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA-R

βTITANIUM Premium Titanium Wheel Nut



2009年12月22日 本日待ちに待ったβTITANIUM TAB6400ホイールナットが届いた。立派な化粧箱はまるで宝石箱のようだ。中に入っているチタンブルーに輝くパーツも宝石のようである。取り出して眺めると、極限まで贅肉をそぎ落としたそのフォルムといい、細部まで拘って作り込まれた妥協のない仕事は、見る者を魅了し決して飽きさせない素晴らしい仕上がりである。ホイールナットという単純な目的のためだけに、機能を徹底的に追求したパーツの行き着く先は、当然のことながら究極の美しさを表現することに他ならないであろう。

TAB6400ホイールナット Type Standard [TIWN-Std]



ホイールナットエンドキャップ-テーパタイプ [WNEG-TP]



RIGID



今日でその役を終えたジュラルミンナット



ホイールは装着したまま1コづつ交換していった。

Pro-Auto



2009年12月25日 今日やっと念願のBTITANIUMのTAB6400ホイールナットとホイールナットエンドキャップの装着が叶った。しかし物事はそう簡単ではなく、三重スバルに来る道中で再リコールの出ていた、オイルクーラーホースが抜けて、エンジンオイルを撒き散らして走るハメになってしまった。到着するまでにオイルの半分程を失った。幸いエンジン本体のダメージは無かったようだが、このハプニングが今日で本当に良かった。実は三重スバルは今日が仕事納めで、この日に再リコールの対策品を取り付ける予定をしていたのだ。運が良かったとはいえ、継続的に使用してきたZERO/SPORTS ZERO SP TITANIUM R 10W-50オイルの買い置きや在庫があるわけもなく、結局近所のPirelli四日市でMOTULの8100 X-max 5W-30を購入して、繋ぎのオイルとしてオイル交換を行った。これまでずっと単一銘柄のオイルを使用していただけに、仕方ないとはいえ残念なことであった。ホイールナット交換の作業は、オイルクーラーホース交換が一段落してから行われた。なにしろオイルをぶちまけたので、ホイールがオイルでベトベトだったが、そのまま交換作業を行った。ただしトルクレンチは増し締めのことを考えて、自前のホイールナット専用トルクレンチを使用することにした。またエンドキャップの取付は、私のスナッピングブライヤーで自ら作業を行った。

